

国家のトップが語るサイバーセキュリティ ①米国

～重要インフラ攻撃がバイデン大統領の本気スイッチを入れた～

What Country's Top Leader Talks about Cybersecurity ①U.S.

～A Cyber Attack on U.S. Critical Infrastructure Gave a Boost to President Biden～

JCIC 藤原未来子

2021年9月22日

サイバーセキュリティの脅威に対し、各国政府による対応が進んでいます。ただ、それがどのくらい本気か、国を挙げてのものになるかは、トップの意向・姿勢によるところが大きいのは企業と同じです。トップの熱意があればこそ、事務方の動きも本格的・持続的になります。そこでJCICでは、各国トップの肉声から、大きな方向性・姿勢を見出そうと試みました。第一弾は米国です。

2021年1月に第46代アメリカ合衆国大統領に就任した民主党のジョゼフ・バイデン。米国内の対立を加速させ、外交を混乱させたトランプ前大統領の後、国内の融和・再生と外交の立て直しなど課題山積です。彼はサイバーセキュリティをどう語っているのか。ホワイトハウスのウェブサイトに掲載されている大統領スピーチや記者会見でのメッセージを通じ、その姿勢を検討します。対象期間は2021年1月20日の就任演説から8月31日までです。

8カ月間のメッセージからは、バイデン大統領のサイバーセキュリティへの意識が、「米国の安全保障に影響するとても重大な項目の一つ」、「その割に人手が不足、安全保障強化と雇用創出を両立させる有望な産業」という、どこか胸算用も感じる熱量やや低めのスタンスから、ある出来事をきっかけに「自国の国民の生活・命に直結する、すぐそこにある危機」、「各国と共に叩き潰すべき問題」、「自国の備えを万全に」、「とにかく人員増強を」とマインドが完全に切り替わったことが見て取れます。出来事とは無論、5月に発生した、コロニアル・パイプラインを襲ったランサムウェア攻撃です。2020年12月にはソーラーウインズの事件もありましたが、その時指揮を執った当事者であったか否かは、意識と行動に大きな違いを生みます。2021年2月に起きたフロリダ州での水処理施設のハッキング攻撃も、幸いなことに実害は出ませんでした。バイデン大統領にとっての転機はやはり、本当に痛い目にあったコロニアルの一件と言えるでしょう。彼はサイバー攻撃に心底怒り、そして決意したのでしょうか。先日の米軍アフガニスタン撤退時に起きた、米兵が死亡した自爆テロの際の発言、「We will not forgive. We will not forget. We will hunt you down and make you pay」(我々は許さない。忘れない。お前達を追い詰め、捕え、贖わせる)と同様の思いを抱いたのではないのでしょうか。

コロニアルへの攻撃はバイデンのスイッチを入れたのです。今まで歩みが鈍かった面もあった官民連携しての対応策の加速、人材育成、同盟諸国への怒濤の働きかけ、やらかした国への警告に一気につながっていきます。今我々が見ているのは、「本気でやばいと思った米国が本気で動いている」様です。

【就任演説:セキュリティは2番目に】

米国の民主主義の根幹を揺さぶった暴徒国会議事堂乱入の記憶も生々しい2021年1月20日、ジョゼフ・バイデン新米大統領の就任演説が行われました。「我々をアメリカ人たらしめる、我々が愛するもの。それは機会、セキュリティ、自由、尊厳、尊敬、名誉。そして真実」と新大統領は語ります。トランプ前大統領を生み出した現在の米国の機会不平等を強く意識しつつ、国内外の混乱も踏まえ、「自由、尊厳、尊敬、名誉」といった理念より前に、「セキュリティ」が2番目に登場です。そして大統領は、「我々は平和、進歩、そしてセキュリティのためにより強く、より信頼できるパートナーとなる」と、国際的な枠組みへの復帰も示しましたⁱⁱ。

【サイバーセキュリティは期待の産業】

4月28日に行われた上下院合同会議での演説。予定稿ではサイバーセキュリティへの言及は「テロ、核拡散、大規模な人の移動、サイバーセキュリティ、気候変動、パンデミックなど、今直面している問題は一国では対応できません」という一節でした。しかし興味深いのは、実際の演説です。加わったメッセージがありました。「アメリカ人はブルーカラーのアメリカ人のもの」という発言の後の、「黒人系の大学など教育機関への奨学金など投資を増やします(中略)そこで学ぶ学生には、サイバーセキュリティや冶金学など、将来の職につながる分野を学ぶ能力があるからです」という発言です。バイデン大統領がサイバーセキュリティを、優良な雇用を生む産業として認識し、政権の一つの「売り」と考えていることが見て取れますⁱⁱⁱ。続く5月、ヴァージニア州のコミュニティカレッジ、ホワイトカラーとブルーカラーの境界線に近い属性の人達に向けた演説でも、希望すれば高収入の職や将来性のある産業に入れるような短大・大学の学位を取る力を与えたいと語り、ヘルスケア、IT、サイバーセキュリティを産業の例として挙げています。未来につながるサイバーセキュリティです^{iv}。

【市民の生活がやられた！】

ところが、そんな明るい話が一瞬で吹き飛びます。5月8日、コロナル・パイプライン社を狙ったランサムウェアによる大規模なサイバー攻撃が発生します。本件は既に広く知られているため概略だけ記します。米国東海岸の燃料供給のおよそ半分を担う燃料パイプラインの運営会社である民間企業のコロナル・パイプライン社が、ロシアに拠点を置く犯罪者集団「ダークサイド」からのランサムウェア攻撃を受け、およそ1週間の操業停止に追い込まれました。ダークサイドは企業データを暗号化してロック、それらデータをインターネット上に流出させると脅迫して身代金を要求しました。燃料逼迫の恐れの中、ガソリンのパニック買いも発生、フロリダ、ノースカロライナなど4州は非常事態宣言を発出しました。同社は身代金を支払いましたが、後にその大部分は回収されたと米国司法省が発表しています。

車社会の米国でガソリンが供給されない。ガソリンスタンドには車の列が並び、価格の吊り上げも始まります。実害を目の当たりにし、米国民が大きな衝撃を受けたことは想像に難くありません。大統領や政権チームにとっても同様です。サイバー攻撃は大統領に、米国の国土を実際に侵し、市民の暮らしを危険にさらす国家的脅威であることを示したのです。大統領のサイバーセキュリティへの意識は土台から変容します。徹底的に対応しなければならない。ただでさえ自然災害でもしばしば脆弱さをみせるインフラを、民間企業のものだからと傍観し続けることはもうできない。徹底的なアップデートを。米国民の生活を支えるインフラ

を、全力で守り固める。

【大統領の必死の呼びかけ】

事件発生直後の5月10日、定例の米国経済に関する記者会見の冒頭、大統領はコロニアル事件のインパクトを語り、4月に発足させていた民間セクターのサイバーセキュリティ強化のための官民イニシアティブについて言及、民間企業が自社で行っているサイバーセキュリティ対策に関し、投資を急拡大させる必要性を訴えました。基本インフラ防衛として、まずは電力セクターを100日で一気にこ入れした後、天然ガスパイプライン、水、その他セクターでも行うことを改めて語りました^v。

5月12日、「米国のサイバーセキュリティを強化する大統領令」が発出されました。第1項「政策」では、米国の公的機関、民間企業を狙ったサイバー攻撃が増加し、米国民の安全やプライバシーが脅かされていることを踏まえ、政府が対策を強化すること、米国を守るため、よりセキュアなサイバー空間を作り出すために政府と民間企業との連携強化がマストであること、民間企業側の努力も必要であることが書かれています。「ゆっくりとした改善は我々に必要なセキュリティをもたらさない。連邦政府は米国的生活様式を支える重要な機関を守るために大胆な変更と大規模な投資を必要としている」^{vi}。

発令翌日の13日、大統領は会見で、パイプライン再開でガソリン不足は改善されること、パニックに陥らないよう、価格吊り上げをしないよう呼びかけます。「何人たりともこの状況で儲けるようなことをしてはいけません。それはハッカー達がやろうとすることであって、我々がすることではない。我々はそんな人間ではない」。「Stay strong. Help is on the way」^{vii}。

そしてインフラ強化の必要性を指摘します。「この一件は、なぜ我々がインフラを強化し、自然や人工の脅威などあらゆる脅威にレジリエントになるようにしなければならないかを強烈に思い出させました」。「守るべきインフラの多くはコロニアル・パイプラインと同様民間企業が運営しています。自社のサイバーセキュリティに責任を持ち、より大規模なサイバーセキュリティ投資が必要です」。「だから4月に、電力セクター、天然ガス、パイプライン、水道、ライフラインに関わるセクターのサイバーセキュリティ強化のための新たな官民イニシアティブを立ち上げたのです」。「そして昨夜、大統領令に署名しました。政府機関に対し、情報共有、サイバーセキュリティ強化、サイバー攻撃への抵抗力を高める技術を備えるために、より密に民間企業と連携することを求めています」。「何もしないというオプションがないことは明らかです」^{viii}。

【ロシアの思うようにはさせない】

攻撃者の背後に見えるロシアへの対応も加速します。前述の会見で大統領は、「(コロニアル・パイプラインへの)攻撃にロシア政府が関与していたとは信じていません。しかし我々は攻撃を行った犯罪者達がロシアに住んでいると信じる強固な理由があります。攻撃はロシアから行われたのです」と明言しています。

フェイクニュースなどでの妨害工作も含め、元々ロシアに対する不信感は顕著です。しかし事ここに到り、同盟国を巻き込み、強い姿勢を打ち出すことになりました。6月に英国で行われたG7会合でバイデンは、G7の総意としてランサム攻撃への非難、そして名指しでロシアを批判するところまで各国の合意を取り付けました。6月13日に発表されたG7サミット共同宣言で挙げられた70項目の51番目、「グローバルな責任と国際的な対応」に示されたのが、「ロシアの領土内で行われたランサムウェア攻撃、そこで得た資金の仮想通貨によるロンダリング、その他のサイバー犯罪を行う人々を特定し、中断させ、罪に問うようロシアに求める」^{ix}。

そして米ロ首脳会談。6月16日、会談後の単独記者会見でバイデンは語りました。「時間を割いた一つがサイバーセキュリティです。ある程度の重要インフラについては、サイバーやその他の手段での攻撃の対象外とする提案をしました。エネルギーや水など16の事業体を提示しました。領土内でランサムウェア攻撃を行った犯罪者について対応を講じる必要があります。米ロは両国の専門家が『対象外』についての具体的な認識について協議し、具体的な例(両国及び他国)についてフォローすることで合意しました。今後半年以内の戦略対話での進展を待ちたい」。そしてプーチンとのやり取りを紹介します。「『ロシアの油田から引かれたパイプラインにランサムウェア攻撃があったら?』と聞いたら、プーチンは『それは問題だ』と答えました」。ある質問には「サイバー攻撃にはサイバー攻撃で対応します」と返答しています。「目には目を」になってきました^x。7月9日には再びプーチンと電話で会談し、ロシア拠点のランサムウェア犯罪集団についてロシアが対策を講じる必要性を強調、米国が米国民と重要インフラを守ることを繰り返し伝えたと発言しています^{xi}。

【本気の大統領:全方位で待ったなし】

サイバーセキュリティの強化で米国を守ることに強い決意を固めたバイデン政権は、総力を挙げて全方面での強化に動きます。相次ぐハリケーン、山火事などの発生でバイデンが「気候危機」と表現するようになった気候問題と同様、徹底的に国の備えを強める動きです。7月、サイバーセキュリティ関連の法案も複数提出されました。守りを固めるには人。サイバーセキュリティに従事する人材の充足も急ぎます。

8月25日、バイデン大統領は、サイバーセキュリティの全面的な改善、特に官民パートナーシップについて協議すべく、テック、金融、保険、教育系の大手企業の経営者達と会談しました。

大統領の発言は全方位に及び、思いが存分に伝わってきます。「我々アメリカ人、そして米国経済が直面するサイバーセキュリティに関する問題。国家安全保障上の重大な課題」と始まります。「携帯電話からパイプライン、電力網に到るまで、我々が依存する技術はハッカーや犯罪者のターゲットになってきました。けれどそれに対処出来る、サイバーセキュリティ関連の優秀な労働力の数が追いつきません。50万ものサイバーセキュリティ関連のポストが空いています。これは課題でもありますがチャンスでもある」。そして5月に出した大統領令に触れ、電力セクターのサイバーセキュリティ向上100日プログラムが早速成果を挙げており、ガスパイプラインでも始まることを述べます。国際関係の文脈では、「ランサムウェア攻撃を行う犯罪者を置いておく国にはその責任を取ってもらうことでG7各国と話をまとめました。プーチン大統領とも会談し、我々が彼にその責任を取ってもらうことを期待していることも明らかにしました」。そして参加者に語りかけます。「米国の重要インフラのほとんどは民間企業が運用しています。連邦政府はサイバーセキュリティの課題に単独では対応出来ないのです。だから今日、皆さんに集まってもらいました。皆さんには力があり、能力があり、サイバーセキュリティの水準を引き上げる責任がある。我々がやるべきことはたくさんあるのです」^{xii}。

この会合では、アマゾン社が従業員向けのセキュリティ啓発トレーニングを無料一般公開すること、グーグル社がセキュリティ強化に今後5年間で100億ドル投資、マイクロソフト社は5年間で200億ドル投資することなどが表明されました。大統領がここまで本気を見せるなら、企業にも応える責務があります。

8月までの動きはここまでです。78歳の国家指導者が、これだけの力を込めてサイバーセキュリティを語る米国。サイバーセキュリティ強化に全力で取り組み始めた米国。9月後半には今までの様々な弾込め

の成果が公表されてきます。さてこの動きを、日本はどう受け止めるのでしょうか。近々就任することになる日本のトップは、どんなメッセージを打ち出すのでしょうか。

* なお、米国にとってサイバーセキュリティを含めあらゆる点で脅威なのはやはり中国であることは論を待ちません。6月3日には「特定の中国企業への証券投資が引き起こす脅威についての大統領令」、6月9日、「外国の敵対者から米国のセンシティブなデータを保護するための大統領令」も出ています。しかしこの8ヶ月はコロナの一件でロシアがクローズアップされたため、サイバーセキュリティの文脈での発言としては中国の比重が総体的に下がったと考えられることを書き添えます。

ⁱ Remarks by President Biden on the Terror Attack at Hamid Karzai International Airport, August 26, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2021/08/26/remarks-by-president-biden-on-the-terror-attack-at-hamid-karzai-international-airport/>

ⁱⁱ Inauguration Address by President Joseph R. Biden, Jr., January 20, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2021/01/20/inaugural-address-by-president-joseph-r-biden-jr/>

ⁱⁱⁱ Remarks by President Biden in Address to a Joint Session of Congress, April 29, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2021/04/29/remarks-by-president-biden-in-address-to-a-joint-session-of-congress/>

^{iv} Remarks by President Biden on the Americans Family Plan, May 3, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2021/05/03/remarks-by-president-biden-on-the-american-families-plan/>

^v Remarks by President Biden on the Economy, May 10, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2021/05/10/remarks-by-president-biden-on-the-economy/>

^{vi} Executive Order on the Improving the Nation's Cybersecurity, May 12, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/presidential-actions/2021/05/12/executive-order-on-improving-the-nations-cybersecurity/>

^{vii} Remarks by President Biden on the Colonial Pipeline Incident, May 13, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2021/05/13/remarks-by-president-biden-on-the-colonial-pipeline-incident/>

^{viii} 同上

^{ix} Carbis Bay G7 Summit Communique, June 13, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2021/06/13/carbis-bay-g7-summit-communique/>

^x Remarks by President Biden in Press Conference, June 13, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2021/06/16/remarks-by-president-biden-in-press-conference-4/>

^{xi} Readout of President Joseph R. Biden, Jr. Call with President Vladimir Putin of Russia, July 9, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2021/07/09/readout-of-president-joseph-r-biden-jr-call-with-president-vladimir-putin-of-russia-2/>

^{xii} Remarks by President Biden on Collectively Improving the Nation's Cybersecurity, August 25, 2021, <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2021/08/25/remarks-by-president-biden-on-collectively-improving-the-nations-cybersecurity/>